

心エコー室で検査を受ける患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 左室収縮障害における僧帽弁近傍の左室自由壁形態異常の研究

[研究機関] 北海道大学保健科学研究院、北海道大学病院循環器内科および検査・輸血部

[研究責任者] 三神 大世（北海道大学大学院保健科学研究院・教授）

[研究の目的]

僧帽弁膜症では、弁の近くの左室壁が変形し、その働きに悪影響を及ぼすので、弁手術時にこれを修復します。私たちは拡張型心筋症などの左室収縮障害がある患者さんにも、類似の変形がみられることに気付きましたが、その意義はわかっていません。この現象の頻度や意義を調べ、治療の向上に結びつけることが、この研究の目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2005年1月から平成2010年8月までの間に心エコー検査を受けた方のうち、拡張型心筋症など左室収縮障害があった方、および、検査の結果、何も異常がみられなかった方

●利用するカルテ情報

- ① 年齢、性別、身長、体重
- ② 診断名、病歴、身体所見、検査所見、治療内容
- ③ 心エコー検査所見：検査レポートに記載された一般的な検査所見
- ④ 心エコー画像解析：検査時に記録した動画を、後にオフラインで分析

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

札幌市北区北12条西5丁目
北海道大学保健科学研究院 担当医師 三神 大世
電話 011-706-3403, 3404 FAX 011-706-4916